

CASBEE® 広島

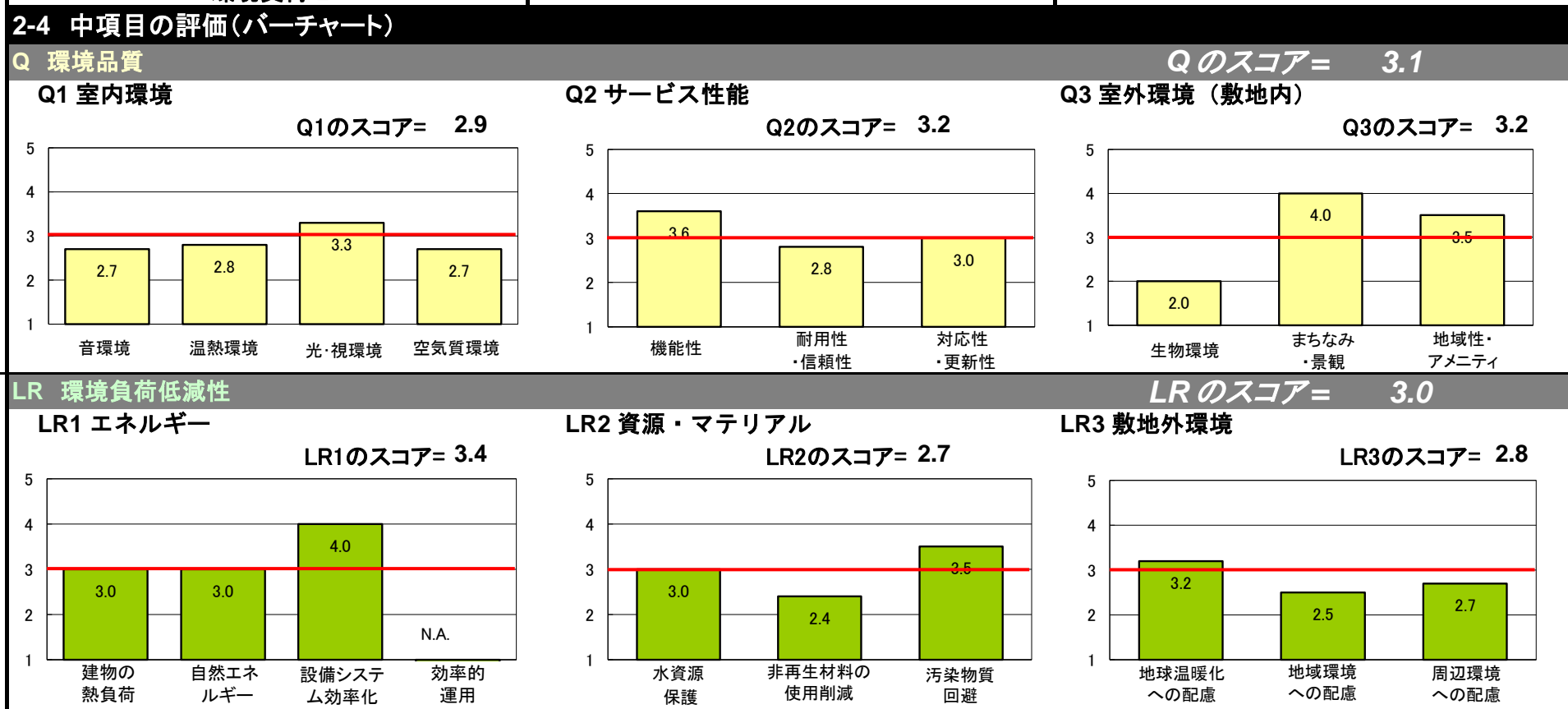
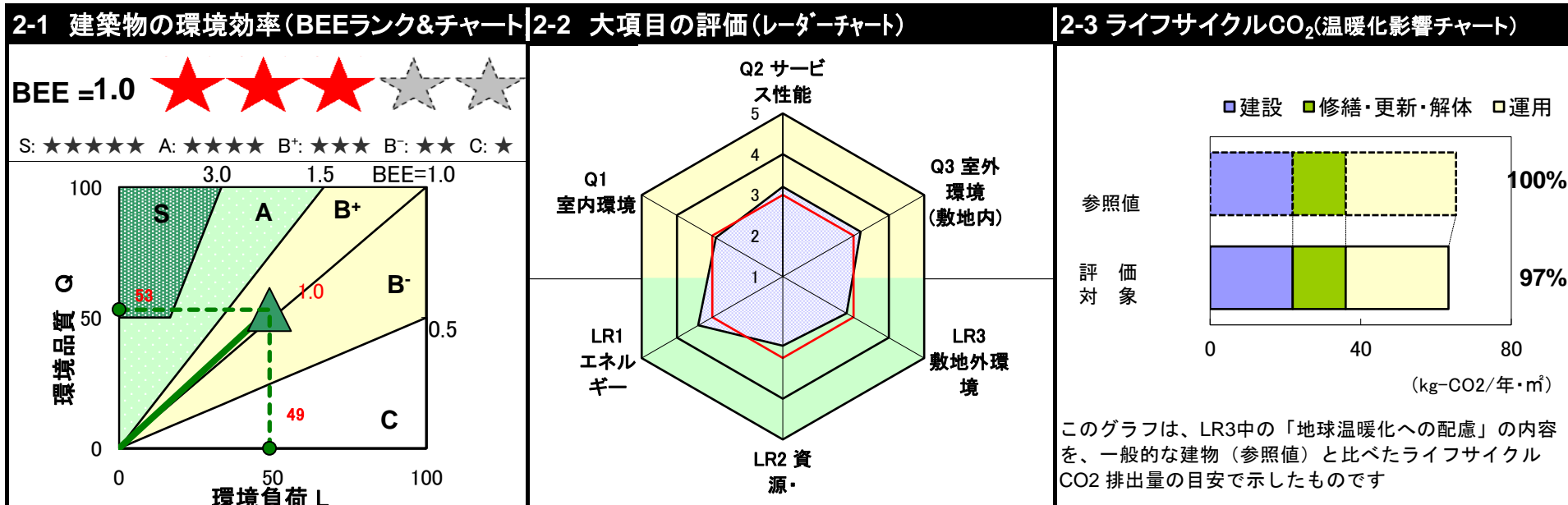
(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------|--------|------------|
| 建物名称 | (仮称)クラス二葉の里 | 階数 | 地上14F |
| 建設地 | 広島市東区二葉の里三丁目187番2 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 近隣商業地域、準防火 | 平均居住人員 | 374 人 |
| 気候区分 | 地域区分IV | 年間使用時間 | 8,760 時間/年 |
| 建物用途 | 集合住宅 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2016/1/末 予定 | 評価の実施日 | 2014年4月3日 |
| 敷地面積 | 3,011 m ² | 作成者 | 山田昌弘 |
| 建築面積 | 920 m ² | 確認日 | 2014年4月8日 |
| 延床面積 | 9,807 m ² | 確認者 | 河上一平 |



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 2.9

| 「地球温暖化対策」の推進 | 「ヒートアイランド対策」の推進 | 「長寿命化対策」の推進 |
|--|---|-----------------------------|
| スコア = 3.0 | スコア = 2.3 | スコア = 2.9 |
| 設計の計画上特段に配慮した事項 // ガス給湯器の採用 // // ライフサイクルCO ₂ 排出率が一般的な建物と同等 | 設計の計画上特段に配慮した事項 敷地内での緑化に努め、敷地内空間を設置 / 住戸数の1.3倍の駐車台数確保、接道形態を利用した出入口の確保 | 設計の計画上特段に配慮した事項 / |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される